

平成28年度 第3回 岐阜県建設発生土処理対策調査委員会 議事要旨

日 時 : 平成29年2月23日(木) 10:00~11:30
場 所 : 岐阜県庁 議会東棟2階 第2面会室
出席者 : 佐藤 健 岐阜大学名誉教授
川合千代子 水環境もやい研究所代表
寺尾 宏 (一財)自然学総合研究所主任研究員
永瀬 久光 岐阜薬科大学教授
山田 優子 国際航業(株)

オブザーバー(廃棄物対策課、環境管理課、保健環境研究所)
関係機関(農地整備課、岐阜農林事務所、森林整備課、道路建設課、揖斐土木事務所、古川土木事務所)
事務局(技術検査課)

1 審議案件

議事1 一般国道360号(仮称)宮川3号トンネルについて(供用名:成手トンネル)

議事2 一般国道417号(仮称)横山トンネルについて

議事3 田頭ため池について

2 経過報告

報告1 主要地方道多治見白川線(仮称)伊岐津志トンネルについて(供用名:やおつトンネル)

報告2 一般国道256号 和良金山トンネルについて(和良工区)(供用名:和良金山トンネル)

報告3 一般国道256号 和良金山トンネルについて(金山工区)(供用名:和良金山トンネル)

報告4 一般国道361号(仮称)上ヶ洞トンネルについて

報告5 主要地方道金山明宝線(仮称)めいほうトンネルについて

報告6 一般国道257号 川上^{かおれ}バイパス道路改良工事について

報告7 林道坂本〜弓掛線(仮称)檜尾トンネルについて

議事1 一般国道360号(仮称)宮川3号トンネルについて(供用名:成手トンネル)

古川土木事務所(山本技術主査)

岐阜県建設発生土管理基準に基づく調査結果は全て基準値以下であったことから、今回をもって終了することとしたい。

委員の意見

(佐藤委員長) 仮置き土を野積みの状態で1年、2年放置すると風化して形態が変わってくるかもしれない。

(寺尾委員) 土壌分析は、溶出量試験、含有量試験の2種類とも実施したのか。

古川土木事務所(山本技術主査)

岐阜県建設発生土管理基準に基づき、溶出量試験を実施した。

委員の意見

(山田委員) 仮置きをしている間の降雨に対する対策はどうしたか。また、周辺の水を測定したことはあるか。

古川土木事務所(山本技術主査)

降雨対策については、舗装を行った上に仮置きし、土にブルーシートを被せて降雨と接触しないようにした。また、土壌検査結果が基準適合土であったため、水質調査は実施していない。

委員の意見

(山田委員) 水質監視柵で測定していないのか。

古川土木事務所(山本技術主査)

基準不適合土ではないため、調査は実施していない。

(永瀬委員) 仮置きのまま、放置した状態のものはないか。

古川土木事務所(山本技術主査)

全て工事に流用し処理済みです。

委員の意見

(佐藤委員長) 当委員会では、今回をもって終了することについて了承した。

=====

議事2 一般国道417号 (仮称) 横山トンネルについて

揖斐土木事務所 (岡田技術主査)

岐阜県建設発生土管理基準に基づく調査結果は全て基準値以下であったことから、今回をもって終了することとしたい。

委員の意見

(寺尾委員) 土壌分析は、溶出量試験だけを実施したのか。

揖斐土木事務所 (廣瀬道路建設係長)

岐阜県建設発生土管理基準に基づき、溶出量試験26項目を実施した。

委員の意見

(佐藤委員長) 分析ヤードにおいて、水質監視柵で水質調査は実施しているのか。

揖斐土木事務所 (廣瀬道路建設係長)

土壌検査結果が基準適合土であったため、水質調査は実施していない。

委員の意見

(佐藤委員長) 土壌分析の検査結果が判明するまでの間、水質調査は実施しているのか。

1週間くらいかかる。

揖斐土木事務所 (廣瀬道路建設係長)

土壌検査結果が判明するまでの間は仮置き土にブルーシートを2重に重ねて覆うことで、降雨等との接触を防止しており、土壌から溶出することは考えられないことから、水質調査は実施していない。

委員の意見

(佐藤委員長) 当委員会では、今回をもって終了することについて了承した。

=====

議事3 田頭ため池について

農地整備課 (遠藤技術主査)

2年間のモニタリング調査結果において、砒素の溶出がみられないことから、モニタリングを終了することとしたい。

委員の意見

(川合委員)

pHの高い日にため池の水を田んぼに使っていたのか。暑い時期を超えて、底にあるものが出てきたのか。

農地整備課 (遠藤技術主査)

1回だけの結果では分からない。今年度7月時点でも pH7.5 以下だった。

委員の意見

(佐藤委員長)

水没して、ため池下流側でも全く検出されない。教育的にも研究的にもいい事例だと思うので、機会があれば、発表などしていただきたい。

(山田委員)

水に浸って、乾湿の繰り返しがないのであれば、材料としてダメージを受けにくいという溶出しない証明ができる実証事例となる。

農地整備課 (遠藤技術主査)

基本的にはほとんど抜かない。水位に大きな変動はない。年1回管理のために、落水する。

委員の意見

(山田委員)

底泥と改良材はどれぐらいの割合で今後しているのか。

農地整備課 (遠藤技術主査)

1 m³当たり平均で約 400 kgである。

委員の意見

(山田委員)

不溶化するよりも量が入っていることから、単に不溶化するよりも余剰分があるため、コントロールできるそういった点で、成功したと言える。

委員の意見

(佐藤委員長) 当委員会では了承した。

=====
報告 1 主要地方道多治見白川線 (仮称) 伊岐津志トンネルについて (供用名: やおつトンネル)

道路建設課 (清水技術主査)

工事の進捗状況について報告

委員の意見

(山田委員) 御嵩側の湧水の pH はどのくらいか。

道路建設課 (清水技術主査)

御嵩側の湧水は、これまでの水質調査から pH8.8~9.5 ぐらいである。

委員の意見

(山田委員) H26.6.19 に貫通してから 2 年ぐらい経っているので、トンネルのセメントの影響がほとんどなくなって来ていると思う。pH9.5 が定常的に出続ける可能性がなくなって来ているのではないか。

道路建設課 (池田係長)

pH は少しずつ下がっている状況である。

委員の意見

(寺尾委員) トンネル湧水量の変化はどうか。

道路建設課 (清水技術主査)

湧水量は御嵩側と八百津側とを合わせて約 200~300ℓ/分である。

委員の意見

(佐藤委員長) 今後も必要な調査を継続していくこと。

=====
報告 2 一般国道 256 号 和良金山トンネルについて (和良工区) (供用名: 和良金山トンネル)

道路建設課 (矢島主任技師)

工事の進捗状況について報告

委員の意見

(山田委員) 土壌検査では検出されていないのか。

道路建設課 (矢島主任技師)

土壌検査でも (基準値以下であるが) 若干あったと記憶している。

委員の意見

(山田委員) 湧水で基準超過していて、土壌分析では適合ということは、周辺に供給源があるということになる。周辺の沢はモニタリングしているのか。

道路建設課 (矢島主任技師)

付近には沢はない。

委員の意見

(佐藤委員長) 和良金山トンネルと相谷トンネルとの位置関係はどうなっているのか。

道路建設課 (矢島主任技師)

山と沢をいくつかはさんでいる。

委員の意見

(佐藤委員長) 今後も必要な調査を継続していくこと。

=====
報告 3 一般国道 256 号 和良金山トンネルについて (金山工区) (供用名: 和良金山トンネル)

道路建設課 (矢島主任技師)

工事の進捗状況について報告

委員の意見

(佐藤委員長) 金山トンネルの坑口の盛土に流用したのか。

道路建設課（矢島主任技師）
金山ICの盛土に流用した。

委員の意見

（佐藤委員長）今後も必要な調査を継続していくこと。

=====
報告4 一般国道361号（仮称）上ヶ洞トンネルについて

道路建設課（矢島主任技師）
工事の進捗状況について報告

委員の意見

（佐藤委員長）希釈するための設備は何か。

道路建設課（矢島主任技師）
かごマットである。

委員の意見

（佐藤委員長）黍生川の流量は少ない感じがしたが、河川の脇の石があるような所に導水しているのか。

道路建設課（矢島主任技師）
はい。フトンかごから溢れ出たことはない。

委員の意見

（佐藤委員長）土石流が発生して土砂が溜まることはないのか。

道路建設課（矢島主任技師）
砂防堰堤の上流であり、極端に埋設することはないと考えている。

委員の意見

（佐藤委員長）今後も必要な調査を継続していくこと。

=====
報告5 主要地方道金山明宝線（仮称）めいほうトンネルについて

道路建設課（清水技術主査）
工事の進捗状況について報告

委員の意見

（佐藤委員長）最終的に基準不適合土はどれくらいの量があったのか。

道路建設課（清水技術主査）
4回の土壌検査の結果から環境基準超過が確認されたことから、約1,000 m³が基準不適合土である。

委員の意見

（佐藤委員長）封じ込め先からの（環境基準超過の）水は出ているのか。

道路建設課（清水技術主査）
封じ込め先での水質モニタリング結果は環境基準値以下である。

委員の意見

（山田委員）トンネル湧水は施工中も継続的に同じぐらい砒素が検出されている。

道路建設課（清水技術主査）
施工中もほぼ環境基準を超える砒素が検出されている。

委員の意見

（山田委員）湧水量は結構安定しているのか。

道路建設課（清水技術主査）
現在の湧水量は約60 m³/hであり、他のトンネルと比べると多い。

委員の意見

（寺尾委員）周辺には廃坑があるにもかかわらず、予想外に不適合土が検出されなかった。

委員の意見

（佐藤委員長）今後も必要な調査を継続していくこと。

=====
報告6 一般国道257号 ^{かおれ}川上バイパス道路改良工事について

道路建設課（矢島主任技師）

工事の進捗状況について報告

委員の意見

(佐藤委員長) 仮置き土をなるべく早く流用していただきたい。

道路建設課 (矢島主任技師)

川上トンネルのずりと合わせて、流用したい。

(山田委員) ブルーシートで養生してある周辺のモニタリング結果は問題ないのか。

道路建設課 (矢島主任技師)

特に問題ない。

委員の意見

(佐藤委員長) 今後も必要な調査を継続していくこと。

=====
報告7 林道坂本～弓掛線 (仮称) 檜尾トンネルについて

委員の意見

(山田委員) 法面からヒ素が検出されたのか。

森林整備課 (木島林道係長)

一部検出された。

委員の意見

(山田委員) 一部検出された土はどうなったのか。

森林整備課 (木島林道係長)

一部なので、場外搬出した。

委員の意見

(佐藤委員長) 掘削土はどこに搬出したのか。

森林整備課 (木島林道係長)

馬瀬之保にある段々畑に搬出した。何も検出されていない。

委員の意見

(佐藤委員長) 掘削土から何か検出されたのか。

森林整備課 (木島林道係長)

何も検出されていない。

=====
作成者：農政部農地整備課、岐阜農林事務所
林政部森林整備課
県土整備部道路建設課、
揖斐土木事務所、古川土木事務所
技術検査課